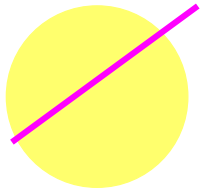


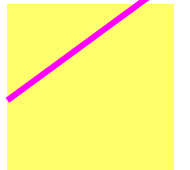
# ているるちゃんがいく！

Vol.52  
2018.11

- 特集1 女性の「働きたい！」を叶える
- 特集2 女性の参画拡大で、政治に多様な声を！
- 好評連載中！ すてきなあなたにインタビュー
- 事業報告と講座案内
- ご案内



# 女性の「働きたい！」を叶える



女性や男性がよりよく働ける社会に向けてどんな行動が必要でしょうか。さまざまな立場の方からメッセージをいただきました。



大城 貴代子

沖縄県女性団体  
連絡協議会会長

女性が働きやすい社会を築くには、女性たちのネットワークをつくり積極的に行動していくことが求められています

「東京医大」の入試疑惑(※1)が報道されたとき、男女共同参画社会づくり功労者として内閣総理大臣表彰を受けた直後のことで、正直言ってまず驚きと怒りを抑えることができませんでした。

「女性が輝く社会」「働き方改革」が声高に言われている中で、このことが長年覆い隠され女性たちの行動さえも摘み取って、女性の進路を閉ざしてしまう社会的な隠蔽は許されるものではありません。

「夫婦共働き規制」(※2)「バスガイド35歳定年」(※3)などに対してこれまで女性団体などで声をあげ、抗議や要請行動を展開してきた私には理解しがたいことでした。また現在も県女団協(注1)では毎年、「3・8国際女性デー」で女性たちが抱えている課題について要請行動をしていますが、医療や保育分野など現場の声を十分把握しているとはいえないことを残念に思いました。

男女共同参画社会(定義)とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され・・・」とあり、2020年までに、女性の登用30%という目標をかかげながら目標達成がなかなか進まないのは、ものごとを決定する場に女性が参画していないのが原因だと思われます。

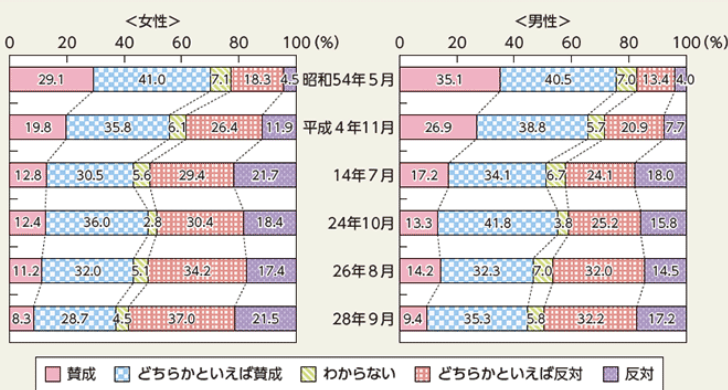
「男は仕事」「女は出産、育児に仕事と家族的責任」を担っている中で、女性が働きやすい社会を築くには、女性たちが声をあげ、ネットワークをつくり積極的に行動していくことが求められているのではないかと思います。

女性が職業を持つことに

対する意識の変化

平成28年の調査では、「子供ができて、ずっと職業を続ける方がよい」が男性52.9%、女性55.3%ともに初めて5割を上回りました。また「性別役割分担意識」でも「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する者の割合が賛成を上回りました。

I-3-5図 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に関する意識の変化



(備考) 1. 内閣府「婦人に関する世論調査」(昭和54年)、「男女平等に関する世論調査」(平成4年)、「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成14年、24年、28年)及び「女性の活躍推進に関する世論調査」(平成26年)より作成。  
2. 平成26年以前の調査は20歳以上の者が対象。28年の調査は、18歳以上の者が対象。



## お互い分かりあい、思いやる気持ちが大切

「わけあいたいの、わかりあいたいから」。そんな食器用洗剤のキャッチコピーがありましたね。一緒にいることが楽しくて、人生のパートナーとなったはずなのに、時と共にどんどん気持ちが離れていく。何でも分けあい分かちあったからこそ、分かりあえたあの頃…。

家事や育児に仕事。日々の喧騒の中で、いつしか分かちあうことをやめ、その結果、分かりあえなくなっていく。理由の一つに、「男は仕事」、「女は家庭」という性的役割分担の考え方があります。既成の慣習に囚われることで、愛し合ったカップルの仲が壊れていく。なんとも悲しいことです。家事・育児の大変さも、社会に出て仕事をする大変さも分かちあえれば、もっとお互いの気持ちを分かりあえ、思いやる気持ちも自然と生まれることでしょう。

女性がキャリアを築く上で、不可欠なのは男性の家事・育児です。人生の楽しみも苦しみも分かちあい、分かりあえるならば、きっとハッピーでラブラブな関係が続くことでしょう。



新垣 誠

沖縄キリスト教学院大学  
人文学部長

## 組織が率先して制度構築に取り組むことと同時に、働く人々が互いを尊重する姿勢を持つ



ひでみ  
長嶺 幸見

沖縄科学技術大学院大学  
人材多様セクション

沖縄科学技術大学院大学では、60か国以上から集まる教職員、学生が世界最先端の科学技術の研究・教育を行っています。私は職員として入校後に結婚、出産を経験しました。それ以来、私のような子育て世代を含む多様な背景を持つ人々が、その能力を最大限に発揮して働くには、組織が率先して制度構築に取り組むことと同時に、働く人々が互いを尊重する姿勢を持つことが大切だと感じています。

本学には、学内保育施設の他、子の看護休暇、フレックスタイム、会議を5時半までに終了する取組、子を伴う出張の支援等、性別を問わず利用できる制度があり、皆これらをうまく活用しながらキャリアを積んでいます。制度利用には、利用者と支援者のコミュニケーションが不可欠ですが、そこに「互いのライフとキャリアを尊重する姿勢があるか」が働きやすさの鍵となる気がします。この2つの要素を共に大切にする組織や人が、活力ある職場風土を作るのではないのでしょうか。

意識の変化の一方で、実際には出産等で離職を選択しているケースが多く見られます。女性の職業への想いと現実の行動との間のギャップが大きくなっており、働きたい、あるいは働く能力があるにもかかわらず働いていない女性が多くいることがうかがえます。こうした状況を解消し、幅広い分野で女性の活躍が可能となる社会を作っていくことが重要です。

今後の課題として様々な取り組みや理解をすすめていくことが挙げられます。男性の育児休業取得や家事・育児への参画、育児休業取得における職場での上司や周囲の理解。また、働き方に応じた多様な柔軟な保育サービスを提供する「企業主導型保育事業」を利用した企業内保育所など、家庭内だけではなく企業や地域の参画も必要です。

※1 「東京医科大学が医学部医学科の一般入試で女子受験者の得点を一律に減点し、合格者数を制限していた不正問題」。

※2 「夫婦共働き規制」1983年に沖縄県による「夫婦共働きの県職員は夫か妻のいずれかが管理職になったら、管理職でない職員は退職してほしい。共働きを続けたければ管理職への昇任は辞退してほしい」との人事構想。

※3 「バスガイド35歳定年」35歳で解雇されたバスガイドの女性が、1988年2月に男女雇用機会均等法に反するとして提訴。裁判所の判断を待たずに、1989年3月に会社側が女性の主張をほぼ全面的に認めて和解が成立した。バスガイドの定年は60歳となり、女性は同年4月に職場復帰した。

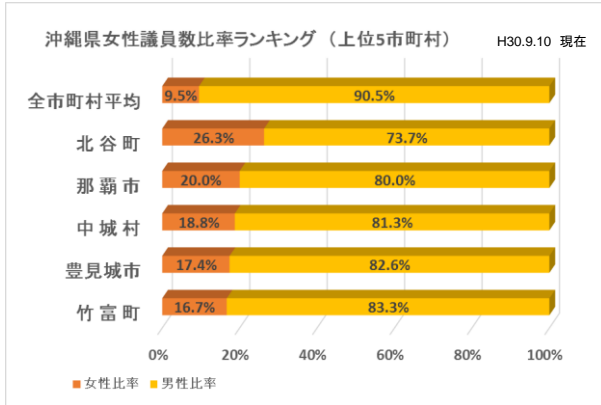
注1 沖縄県女性団体連絡協議会の略

# 女性の参画拡大で、政治に多様な声を！

～男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す～  
「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」

(平成30年法律第28号)が平成30年5月23日に公布・施行されました。

「2020年30%」の目標とは？



社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標

(平成15年6月男女共同参画推進本部決定、第3次男女共同参画基本計画(平成22年12月閣議決定))

※「指導的地位」の定義

①議会議員、②法人・団体等における課長相当職以上の者、③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者とするのが適当(平成19年男女共同参画会議決定)

9月に行われた市町村議会選挙で初当選された女性議員の方々にコメントをいただきました！

質問) ①市町村議員に立候補した動機

②議員としての抱負

③男女共同参画に関して議会での質問予定。男女共同参画社会実現の為に重要なこと。

## 中城村議会 屋良 照枝 議員

- ①介護の問題、改善をたくて立候補しました。
- ②地域の会活動、もっと充実させ、地域の改善に努力する。
- ③ある。育児や介護に伴う、休業など。女性議員としてがんばること。

## 粟国村議会 赤嶺 真知子 議員

- ①暮らしやすい島づくり
- ②飛行機の運航・歯科治療の再開
- ③特になし

## 北谷町議会 新垣 千秋 議員

- ①去る1月20日の北谷町女性議会(模擬議会)へ参加させて頂いた事がきっかけ。
- ②町民が「北谷町に住んでいて良かった。」と思える町、子ども達が大きくなった時「北谷で暮らしたい。」「北谷で仕事がしたい。」と思えるまちづくりをしていきたい。
- ③今は予定なし。お互いに思いやれる、尊重できる社会が重要。

## 八重瀬町議会 石原 朝子 議員

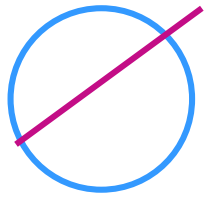
- ①本町は急激な人口増加に伴い、さまざま課題が多岐にわたり出現している。女性として母親の視点から課題解決に取り組み、希望あるまちづくりをめざす。
- ②きれ目のない子育て支援、教育環境の整備推進、生涯学習と郷土文化の推進、高齢者と障害者へのきめ細かな支援、農水産業の育成・雇用環境の改善、三世代が共に暮らせる環境づくり。
- ③質問予定なし。家庭における教育。

## 竹富町議会 宮良 道子 議員

- ①竹富町は前回、やっと女性議員が誕生した。議会にもっと女性の視点と女性議員が必要と思ひ立候補。また長年、町への疑問や要望をしてきましたが、納得いかない返答も多くあり、それらを解明したい。
- ②町民としての視点を持ち、町民の声(特に女性)を聞き、あらゆる問題に取り組み、出来る事、出来ない事、出来ない事への工夫など、町・県・社会の問題について納得いくまで取り組んでいきたい。
- ③今後、男女共同参画に対しても考えていきたい。女性の進出。議会・教育委員・町役場・課長・役員・三役等、もっと女性とそのポジションにつくべき。

## 読谷村議会 城間 真弓 議員

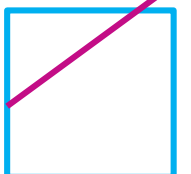
- ①生活すべてが政治に繋がっている。大人が政治に「何やってもしょうがない」と諦めたら、その歪みは未来を担う子どもたちに返ってくる。政治を諦めない希望の持てる村づくりをしたい。
- ②女性の目線で、命や暮らしに焦点をあて、一人ひとりが大事にされる社会づくり。命をかけて子の未来を守り、つくっていくことを原点に、常に村民目線で、まっすぐに、それでいて柔軟な心で歩いていきたい。
- ③議場では男性も女性もない。お互いの違いを認め尊重しながらも、立場的な平等はしっかりと求めていきたい。



# すてきなあなたにインタビュー 「生きがい」をもって働ける職場

## 長嶺 栄子

株式会社かりゆしエンターテイメント代表取締役社長  
株式会社かりゆし取締役



沖縄の観光業を代表する大手ホテル、株式会社かりゆしの取締役に今年7月に就任された株式会社かりゆしエンターテイメント代表取締役社長 長嶺栄子さんにお話を伺いました。

### グループ会社の取締役という重責

長嶺さんが取締役に決まったのは突然だった。毎年オーナーから来る“誕生日おめでとう”メールと共に知ったというのだ。おめでとう！メールのほが、嬉しい悩みメールに。「この歳で、会社の求める役員として重責に應えることができるのか？」考えた。子育てがもっとも大変だった30代前半、子どもたちに負担を掛けたことがフラッシュバックし、真っ先に家族に相談した。その時、家族は「ママすごい！おめでとう！」と喜び、不安を打ち消すように、取締役就任の背中を押してくれたという。

### かりゆしとの出会い“観光業”

長嶺さんは当時30歳。子どもは3歳。フリーアナウンサーの仕事をしていて、子ど

もたちと過ごす時間を増やすため就職活動を始めた。そのとき見つけたのが「株式会社かりゆし 宣伝助成課 広報企画」という仕事だった。観光産業がリーディング産業として今より認知されていなかった時代、観光業界で働く事を家族に理解してもらえなかったが、畑違いの業界だからこそ挑戦してみた！という気持ちが大きく、当時住んでいた沖縄市から路線バスで2時間、子どもたちと一緒に那覇市に通ったという。

半年後、秘書課に異動し7年間勤めた。その頃、喘息で保育園を休みがちな娘を抱えて必死に働く長嶺さんが、オーナーに言われた言葉があるという。

『子どもはいつまでも小さくないよ。いつか手を離れる時が来るから、3日だけ一所懸命働いて、後は、子どものために休むという気構えで、まずは仕事を続けること。それがキャリアアップにつながる』

「その言葉が原動力となって今の自分がいえると思う」と長嶺さん。

その後、能力開発室新設、室長として従業員向けの研修や相談窓口をつくり、人事評価のマニュアル作成・中間管理職に向けた評価制度研修などを行い職場の環境づくりをした。

そして現在、取締役として長嶺さんに求められているのは、時代にあった、働きやすい、生きがいのある職場づくりだ。



かりゆしホテルズで働く女性スタッフ

### わたしが目指すもの

「会社として、社員一人ひとりの仕事へのモチベーションを維持させ、スキルアップをサポートすることでキャリアアップに繋がる『生きがい』をもって働ける職場が大切」と長嶺さん。

「女性の社会進出により、女性が働きやすいような制度が導入されているが、制度だけに頼らずに会社が社員に寄り添いながら、仕事も家庭も両立できるようにサポートが重要。楽しく、元気に、思いっきり働く」、女性が長く活躍できる会社を目指して取り組みたい。社員の輝いている姿をずっと見ていたい」と笑顔で語った。



- 1981年 沖縄国際大学文学部国文学科卒業
- 1980年 NHK 沖縄放送局報道部【ニュース 630】キャスター
- 1983年 フリーアナウンサー
- 1990年 ㈱平盛リゾートエンタプライズ入社 宣伝助成課所属  
秘書課所属(社長秘書並び役員室秘書主任)
- 1999年 ㈱平盛リゾートエンタプライズ 能力開発室 室長
- 2007年 ㈱かりゆしエンターテイメント 代表取締役社長就任 現在に至る

所属団体  
太平洋文化交流協会 事務局長／日英協会 沖縄支部 理事／沖縄県ホテル協会 会員／沖縄県女性の翼 会員／沖縄県経営者協会 女性リーダー部会委員



# 沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

## 夏休み子ども講座報告

### しっくいで面シーサーを作ろう！

実施日：7月28日（土）  
講師：かかずかずこ氏  
（メイクマンでの手作り教室や児童館、公民館などで講師を務める。）



### キラキラぬり絵を作ってかざろう！

実施日：8月4日（土）  
講師：漢那睦美氏  
（NPO法人マチルダおもちゃ協会、イベントなどで手作りおもちゃの講師を務める。）



### しっくいかわいいデコポットを作ろう！

実施日：8月5日（日）  
講師：かかずかずこ氏  
（メイクマンでの手作り教室や児童館、公民館などで講師を務める。）



### 色えんぴつでピカソになろう！

実施日：8月11日（土）  
講師：江谷紋子氏  
（アート教室やアート&カラーセラピーを主催。沖縄県立博物館・美術館などの講師を務める。）



### ているるフェスタ！ ITジャーナリスト富永彩乃講演会

実施日：9月2日（日）  
内容：子どもたちを対象にした「将来なりたい職業ランキング」にYouTuberが上位ランクインしたことが大きな話題になっている。動画をアップし、そこに広告を入れ込むことで企業から広告収入が振り込まれるというシステムで収入を得ていることを説明。会場では教育関係者やIT業界、また親子連れなど、ネット社会の現状について興味深そうに聞き入っていた。YouTuberによる弊害やネット被害等も例に挙げ「正しい知識を身に付け、子どもたちのクリエイティブな才能を伸ばせるよう活用してもらいたい」と呼びかけた。



### オリジナル！森のアロマルームスプレー作り

実施日：9月15日（土）  
講師：ゆかれん  
（森のアロマセラピールーム香蓮 - CAREN-オーナーセラピスト）



### アロマワックスバー作り

実施日：10月13日（土）  
講師：ゆかれん  
（森のアロマセラピールーム香蓮 - CAREN-オーナーセラピスト）



## 参加者募集！

お問い合わせ&お申込み  
沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 TEL:098-866-9090

### セルフマッサージオイル作り

日時：11月24日（土）14時～16時  
内容：人気の「ライスキャリアオイル」でオリジナルオイルを作成します。セルフケアや大切な人のために出来る簡単ハンドマッサージも紹介します。  
場所：ているる3階 創作室  
講師：ゆかれん（森のアロマセラピールーム香蓮 - CAREN-オーナーセラピスト）  
受講料：2,500円（材料費込み）  
対象：興味のある方



# 事業報告と講座案内

## (公財) おきなわ女性財団

### 【女性起業塾】第1回 女性のためのゼロから始める 個人事業スタートアップセミナー

実施日：7月14日(土)  
講師：伊波 尚子氏  
(中小企業庁 沖縄県よろず支援拠点コーディネーター)  
場所：ていいるる3階 研修室

### 【女性起業塾】第2回 事例に学ぶ！小さく始める起業のかたち

実施日：8月11日(土)  
講師：山城 あゆみ氏  
(中小企業庁 沖縄県よろず支援拠点コーディネーター)  
場所：ていいるる3階 研修室

### 【DV啓発講座】児童生徒の性の課題～デートDVから考える～

実施日：8月7日(火)  
講師：矢野 恵美氏(琉球大学大学院法務研究科教授)  
場所：沖縄県立総合教育センター

### 【相談員研修】

#### 改めて考える子ども的人権～子どもと沖縄の未来のために～

実施日：9月13日(木)  
講師：横江 崇氏(美ら島法律事務所 弁護士)  
場所：ていいるる1階 ホール

### 【男女共同参画講座】

#### 知ってる？#憲法24条 ～日本国憲法からみる男女平等～

実施日：8月18日(土)  
講師：小林 武氏  
(沖縄大学客員教授・弁護士)  
場所：ていいるる3階 研修室



### 【ワークライフバランス出前講座】女性の活躍とワークライフバランスの推進について

実施日：8月29日(水)、9月6日(木)、11(火) 職員階層別に3回開催  
講師：垣花 みち子(公益財団法人おきなわ女性財団常務理事)  
場所：沖縄地区税関

### 【法律講座】第1回「子ども編」子どもの親権、監護権、面会交流について

実施日：9月22日(土)  
講師：野崎 聖子氏(うむやす法律会計事務所 弁護士)  
場所：ていいるる3階 研修室

### 【法律講座】第2回「お金編」慰謝料・養育費、別居中の生活費、年金分割について

実施日：10月13日(土)  
講師：野崎 聖子氏(うむやす法律会計事務所 弁護士)  
場所：ていいるる3階 研修室

## 参加者募集!

お問い合わせ&お申込み (公財)おきなわ女性財団 TEL:098-868-3717

### 【健康教室】スポーツ栄養学と楽々ランニング

日時：11月18日(日)、27日(火)、30(金)  
すべて14時～16時  
場所：ていいるる1階 ふれあいサロン、三重城・波の上公園周辺  
講師：大城 ちか子氏(公認スポーツ栄養士・管理栄養士)  
尾尻 義彦氏(琉球大学医学部保健学科 助教)  
受講料：2,500円(全3回分)  
対象：興味のある方、1回の受講も可能

### おすすめ講演!

#### 全国女性会館協議会第62回全国大会in沖縄

上野 千鶴子氏 基調講演  
「女性活躍推進社会の光と影ージェンダー公正をめざしてー」をテーマに上野千鶴子氏による基調講演とパネルディスカッションを開催します。

日時：12月8日(土) 14時～17時40分  
場所：沖縄県男女共同参画センター1階「ていいるる」ホール  
参加費：無料  
締切：11月22日(木)  
申込・問合せ：公益財団法人おきなわ女性財団 098-868-3717  
<https://www.okinawajosei.org/>

### 【ジェンダーを考える教室(出前講座)】

#### 南風原の「男女共同参画」を考える ～ひとりひとりがじぶんらしく～

日時：11月20日(金) 13時～17時  
場所：南風原町役場  
受講料：無料  
講師：新垣 誠氏  
(沖縄キリスト教学院大学 人文学部長)  
対象：南風原町職員ほか

### 【男性の家事育児参画講座(出前講座)】

#### かんたん☆かわいい♥たのしい♪ 風船で遊ぼう! 【ジェンダーを考える教室(出前講座)】 健康なココロとカラダ、まずはここから! ～男女共同参画ってなに?～

日時：11月23日(金) 午前中  
場所：与那国中学校体育館  
(与那国福祉祭り会場)  
受講料：無料  
講師：お父Ringメンバー + 新垣 誠氏  
(沖縄キリスト教学院大学人文学部長)  
対象：関心のある方

## ～ているる相談室～

沖縄県男女共同参画センター「ているる」では相談窓口を開設しています。  
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010		男性相談 TEL : 098-868-4011
	一般相談	特別相談	一般相談
日時	火曜～土曜 10:00～20:00	予約制	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話/面接(面接は予約制)	面接	電話のみ
相談内容	生き方、性格、夫婦・親子関係、 対人関係をはじめ様々な悩みや問 題に関する相談を行っています。 ◆国際相談 外国人との結婚・離婚などの様々 な問題に関する相談。	<b>女性問題に詳しい専門家による                      各種相談を行っています。</b> ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回) ◆国際法律相談(月1回)	<b>男性からの相談を男性の相談員がお受けします。</b> 男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、 心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。 秘密は厳守しますので、ひとりで悩まず、お気軽 にお電話ください。
お休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

## ～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。

頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

- 特典：情報誌「ているるちゃんがいく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。  
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。

- 年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円

※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

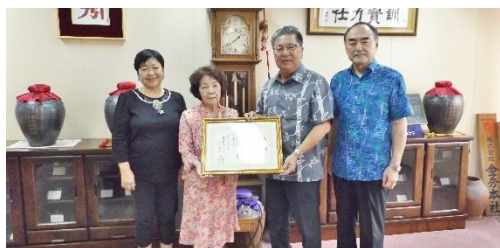
(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

## (公財)おきなわ女性財団への寄付のご報告

「金秀グループ創業70周年記念チャリティーゴルフ大会」の収益金から寄付がありました。

平成30年10月15日に金秀グループ本社へ赴き、感謝状を贈呈いたしました。頂いた寄付金は、当財団の公益事業のために大切にに使わせていただきます。

また「大田昌秀さんを偲ぶ会実行委員会」からも寄付をいただきました。あらためて紙面を通し深く感謝申し上げます。



## 大城 貴代子さん 平成30年度沖縄県功労者表彰

平成30年11月3日(日)に公益財団法人おきなわ女性財団評議員の大城貴代子さんが、平和・人権推進部門にて表彰されました。

おきなわ女性財団インフォ～♪  
フォローお願いします!



facebook



twitter



ていーだブログ

沖縄県男女共同参画センター「ているる」 〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1

発行月：平成30年11月

表紙写真 大屋 玲奈

発行：公益財団法人おきなわ女性財団  
TEL:098-868-3717 FAX:098-863-8662  
HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体  
TEL:098-866-9090 FAX:098-866-9088  
HP: <http://www.tiruru.or.jp/>